

한통련 뉴스레터

제90호

発行:在日韓国民主統一連合 (韓統連)

〒110-0016 東京都台東区台東4丁目31-7-302 電話/FAX 03-4362-5284
メール chuo@korea-htr.org ホームページ <https://chuo.korea-htr.org/>

ニュースレター配信をご希望の方はchuo@korea-htr.orgまでご連絡ください。(メールにお名前をご記入の上、件名に「韓統連ニュースレター配信希望」とお書きください)

정세 情勢

● 高まる「尹政権は退陣しろ！」の声…全国で「9. 28退陣時局大会」開催



「9. 28 尹錫悦政権退陣時局大会」予告記者会見

尹大統領、「反国家・反韓国勢力」「反改革勢力」発言

尹錫悦 (ユン・ソンニョル) 大統領は9月10日、ソウル市内のホテルで開かれた南北統一政策に関する大統領諮問機関・民主平和統一諮問会議の会合に出席し、「北の宣伝、扇動に同調する社会の一部の反韓国勢力に対抗し、自由の力で国の未来を守ってほしい」と呼びかけた。

尹大統領は8月19日の閣議でも「社会内部では自由民主主義体制を脅かす反国家勢力が暗躍している」とし、野党が「国民を分裂させている」などと主張していた。

尹大統領は9月13日、大統領直属の国民統合委員会で、「改革の歩みを止めない」として、「社会の構造的な問題点を根本から解決するため、反改革勢力の抵抗に屈せず年金・医療・教育・労働の4大改革を強く進めている」と強調した。

尹大統領支持率20%、就任後最低値

世論調査会社の韓国ギャラップは9月13日、調査(10～12日に実施)結果を発表。尹大統領の支持率は20%で、就任後最低を記録した。不支持率は70%で、就任後最高となった。政党支持率でも与党「国民の力」が28%で、尹政権発足後の最低を更新した。

また、世論調査会社のリアルメーターが16日に発表した調査(9～13日)結果によると、尹大統領の支持率は27.0%、不支持率は68.7%だった。支持率は同社の調査でこれまで最低だった2022年8月第1週(29.3%)を下回り、現政権発足後の最低記録を更新した。

野党、「特検2法」国会可決

政府から独立した特別検察官に尹大統領の妻、キム・ゴニ氏を巡る疑惑と、海兵隊員の殉職事故を巡る疑惑を捜査させる二つの特別法(特検法)案が19日の国会本会議で可決した。過半数の議席を持つ第一野党「共に民主党」をはじめとする野党により採決が行われた。両法案に反対する与党「国民の力」は採決を退席した。

キム・ゴニ特検法の捜査対象は株価操作をはじめ、金氏の国政人事への介入、高級ブランドのバッグ授受など8疑惑。

昨夏発生した海兵隊員の殉職事故を巡り、政権が捜査に圧力をかけたとの疑惑を捜査する特検法の国会提出は今回が4回

目。これまで3回は尹大統領が再議要求権（拒否権）を行使して国会に差し戻され、再採決で否決され廃案となった。今回の法案では、大法院長（最高裁長官）が特別検察官候補4人を推薦し、共に民主党と非交渉団体の野党が2人に絞り、そのうち1人を大統領が任命する。ハン・ドンフン与党代表の提案が考慮された。過去3回の特別法案は推薦権限が野党だけに与えられていた。

「尹錫悦弾劾準備議員連帯」構成

進歩党は8月20日、尹大統領の弾劾を推進すると公式宣言した。9月11日には進歩党に加えて党方針として弾劾を確定した祖国革新党と「共に民主党」、社会民主党の議員13人が国会で記者会見を開催。

「尹錫悦弾劾準備議員連帯」の構成を発表し議員の参与を訴えた。

進歩党のユン・ジョンオ院内代表は議員連帯の目的について△弾劾を国会で先導する△国会と広場における退陣の熱望を結集する△弾劾以後、社会大改革方案を研究することだと説明し、朴槿恵（パク・クネ）元大統領の弾劾後、準備なしに迎えた政権交代の限界についても指摘した。

大統領弾劾は国会在籍議員（定数300）の過半数の同意を受けて訴追が発議される。票決では在籍議員の3分の2以上が賛成して訴追案が通過し、憲法裁判所が訴追の可否を決定する。

「9.28尹錫悦政権退陣時局大会」全国で開催

こうした中、「退陣の広場を開こう！ 9.28尹錫悦政権退陣時局大会」が9月28日、ソウル都心をはじめ全国各地で同時に開催される。主催は尹錫悦政権退陣運動本部、全国民衆行動、自主統一平和連帯、全国非常時局会議、全国民主労働組合総連盟（民主労総）。

昨年1月、民主化運動の元老100余人が時局提案の記者会見を開催したのを契機に構成された全国非常時局会議は20日、ソウル市内で記者会見を開催し、尹政権の即時退陣を求める各界1500人時局宣言「わたしたち全員が立ち上がり国を守りま

しょう-親日売国・反国家勢力の尹錫悦政権をこれ以上このままにしておくわけにはいきません」を発表。尹政権退陣を要求し退陣時局大会への参加を訴えた。

尹政権退陣の声を強くあげよう

尹大統領は「反改革勢力の抵抗に屈せず年金・医療・教育・労働の4大改革を強く進めている」と強調した。民意や野党の主張、反対勢力の言動をすべて自身の政策に対する「抵抗」として捉え、改革には抵抗はつきものだとして意に介さず、独断と専横、傲慢な姿勢を貫いている。さらには反対・抵抗勢力の一部を自由民主主義に反対する親北の反国家勢力・反韓国勢力だと一方的に罵倒し、攻撃と弾圧を加えると共に、国民との離間を画策する。

一方、尹大統領の支持率は20%にまで落ち込み、民生・民主・平和を破壊し従米・親日・反北一辺倒の尹政権に反対する国民世論は明確であり、さらに民意は退陣要求へと集まりつつある。

院内では、野党が尹大統領の度重なる拒否権発動にも屈せず、国民の支持を背景に特検法を粘り強く進め政権を圧迫している。4野党による「尹錫悦弾劾準備議員連帯」も構成された。尹錫悦政権退陣運動本部など市民社会団体側でも主催団体を拡大し、9月28日の「尹錫悦政権退陣時局大会」を皮切りに、11月9日、11月20日、12月7日と退陣大会（民衆総決起）を連続開催し、退陣要求の汎国民的空間をつくりながら尹錫悦政権退陣運動を展開する計画。議員連帯も退陣要求大会への参加に積極的で、まさに院内外を貫く尹錫悦政権退陣要求汎国民戦線が具体的に形成される情勢だといえる。

「尹錫悦退陣！」の声を強くあげていこう。

※韓統連では宣伝ビラ「尹錫悦政権は退陣しろ！」（A4両面カラー）を作成しました。HPからダウンロードできます。ご利用ください。

● 軍事緊張と戦争危機をもたらす韓米日の合同軍事演習・軍事同盟に反対する



韓米日外相会談。右から趙兌烈外交部長官、
アントニー・ブリンケン国務長官、上川陽子外相

4カ国協力枠組み「クアッド」首脳会議

米国、日本、オーストラリア、インド4カ国の協力枠組み「Q U A D（クアッド）」の首脳会議が9月21日、米東部デラウェア州ウィルミントン近郊で開催され、共同声明「ウィルミントン宣言」を発表した。

声明では、中国の名指しを避けつつ「力または威圧による現状変更を試みる行動に強く反対する」とし、インド太平洋地域の船舶動向を合同監視するなど、海洋安全保障の連携強化で一致した。

北朝鮮（※正しくは朝鮮、以下同じ）の核兵器の追求と相次ぐ弾道ミサイル発射を糾弾するとともに、「朝鮮半島の完全な非核化」を再確認。北朝鮮に対し、国連安全保障理事会の決議に伴うあらゆる義務を守り、追加挑発を自粛して実質的な対話に乗り出すよう求めた。4カ国首脳は「北朝鮮との軍事協力を強化している国」に対する懸念を表明し、ロシアとの協力強化をけん制した。

会議にはバイデン米大統領、岸田文雄首相、アルバニー豪首相、モディ印首相が出席した。

バイデン氏は会議で「4カ国はかつてないほど戦略的に連携している」と述べた。

米日首脳会談が会議前にバイデン氏の私邸で開催された。

韓米日外相会談

韓米日3カ国の外相は23日、国連総会に合わせて米ニューヨークで会談し、米国と日本の政権が交代しても緊密な連携を継続することで一致した。また、北朝鮮の挑発と脅威に断固として対応するため、3カ国が安全保障で協力する重要性を改めて確認した。協力の制度化のために3カ国首脳会談の年内開催の推進と韓米日事務局の設立発表に合意した。

趙兌烈（チョ・テヨル）外交部長官は会談で、「北のいかなる挑発にも緊密に協力し、断固として対応する」との姿勢を強調。ブリンケン米務長官は「米日は政治的な転換期を迎えているが、3カ国協力はそのような変化と関係なく3カ国の未来にとって重要」だとして、「尹錫悦（ユン・ソンニョル）大統領と岸田首相のビジョンと決断力、政治的な勇気が3カ国協力を強化させた主な理由」と強調した。上川陽子外相は3カ国の戦略的な協力がいつにも増して重要になっているとし、北朝鮮への対応を含むさまざまな分野で協力を強化する考えを示した。

3カ国外相会談が開催されるのは2月以来となる。

韓日国防担当高官会談

金龍頭（キム・ヨンヒョン）国防部長官は11日、ソウル市内のホテルで開かれた「ソウル安保対話」に合わせ、鬼木誠防衛副大臣と会談した。両氏は未来志向の国防交流の推進に対する意見を交換し、韓日や韓米日の安全保障協力強化が重要であるとの認識で一致した。

金氏は「北の核・ミサイルが高度化し、ロシアと北の軍事協力が強化されている厳しい時期において、韓日及び韓米日の緊密な協力は必須」と強調した。鬼木氏は韓日、韓米日の安保協力が重要な時期という認識について同意し、韓日の国防交流が積極的に推進されることに期待を示した。

防衛省の政務三役（防衛大臣、副大臣、政務官）が訪韓したのは2015年の中谷

元・防衛相（当時）以来9年ぶり。

「韓米日軍事同盟の構築」に反対する

岸田首相は訪韓（9月6日、尹錫悦大統領と会談）に続いて訪米。バイデン大統領と会談しクアッド首脳会議に参加した。10月1日に退陣する見通しの首相としては異例ともいえるあわただしい外交は、朝中口を念頭にしながら、米・日の新政権登場後も、キャンプデービッド合意「韓米日3カ国軍事協力の強化⇒韓米日軍事同盟の構築」を維持し、「自由で開かれたインド太平洋の実現」の名の下にクアッド米日豪印4カ国の協力をさらに深化させようとする米国の意向に沿い、日本政府が旗振り役を引き受けた（もしくは「引き受けさせられた」）ものである。当然、岸田氏には退陣後の次期政権へ「外交成果」として継承を

図る思惑があるだろう。

韓米日3カ国の外相も米・日の政権が交代しても緊密な連携を継続することで一致。さらに、ブリンケン氏は韓日首脳会談の結果も踏まえて韓日首脳が3カ国協力を強化したと持ち上げた。実際、韓日国防担当高官会議が示すように、韓日間の協力は軍事関係でも進んでいる。韓米合意に基づいた米国の核兵器による韓国への拡大抑止策も着々と実動化が進んでいる。6月に初実施された韓米日3カ国合同軍事演習「フリーダムエッジ」は定例化と強化が決定している。

朝鮮半島をこえて東アジアさらにはインド太平洋にまで軍事緊張と戦争危機をもたらす韓米日の合同軍事演習・軍事同盟に断固反対する。

●情勢短信

「韓国+国連軍司令部」国防相会議、開催…多国籍軍事同盟へと変貌



会議に参加した各国の担当者

韓国と在韓国連軍司令部参加国との第2回国防相会議が9月10日、ソウル市内のホテルで開かれた。今年8月に国連軍司令部に加入したドイツからは国防次官が参加した。韓国国防相は「『一つの旗、一つの精神の下で戦う』とのスローガンを掲げて今後も相互の協力と連帯を強化する」と強調した。また、参加国は共同声明で北朝鮮（※正しくは朝鮮）とロシアの軍事的な接近に懸念を示し、両国が締結した「包括的戦略パートナーシップ

条約」を非難した上で、「国連の原則に反して、朝鮮半島で韓国の安保を脅かす敵対行為や武力攻撃が再開された場合、共同で対応する」と宣言した。国連軍司令部が停戦協定の管理という役割をこえて、NATOのような米国主導の多国籍軍事同盟へと変貌していることを明らかにした。これに対し、自主統一平和連帯と「偽『国連軍司令部』解体国際キャンペーン」はホテル前で、記者会見「主権と平和を破壊する国連軍司令部の拡大、再活性化に反対する！」を開催し、「朝鮮半島に戦争を呼び込む尹錫悦（ユン・ソンニョル）政権を退陣させ、米国を追い出すために立ち上がろう」と訴えた。同会議に対し朝鮮外務省は13日、「朝鮮半島と域内で安保の不均衡を招き戦争の危機を高める、極めて危険千万な政治軍事的挑発」と非難した。

梨泰院惨事特別調査委員会が発足

2022年10月29日のハロウィーンで、159人が死亡、195人が負傷するソウル梨泰院惨事（転倒事故）が発生した。事故を巡っては、ハロウィーン目的での来訪者に



特調委第1回会議で遺族と対面するソン・ギチュン委員長

調査開始日から1年、3カ月以内の範囲で一度延長が可能。尹錫悦（ユン・ソンニョル）政権は特別法案に拒否権を発動し、特別調査委員会の発足を遅延させるなど梨泰院惨事の責任回避に終始し、厳しい批判を受けてきた。

梨泰院一帯の混雑に対する当局の不十分な対応が、大きな惨事につながったという指摘が相次ぎ、今年5月の国会で、被害者の権利の保障や事故の真相究明と再発防止のための特別法案が可決、9月23日に独立調査機関「梨泰院惨事の真相究明と再発防止のための特別調査委員会（特調委）」が発足した。同委員会は、国会議長が与野党の合意を経て推薦する委員長1人、与野党がそれぞれ推薦する4人、合わせて9人で構成され、大統領が任命する。活動期間は

활동보고 活動報告

●尾澤孝司氏控訴審判決…不当判決に怒りの声



不当判決に抗議する尾澤孝司氏

東京高裁は9月11日、韓国サンケン労組に対する支援活動の中で、暴行罪・威力業務妨害罪で逮捕・起訴された尾澤孝司氏の控訴審判決を下した。当日は支援者などが100人以上結集し、韓国からも韓国サンケン労組のオ・ヘジン元分会長、民主労総のキム・ウニョン慶南地域本部長が駆けつけた。

判決は、原告の訴えをすべて却下し一審判決のまま控訴棄却。判決の冒頭、尾澤氏が裁判官に対して弁護側が提出した18点の証拠・証人申請を、伊藤雅人裁判長がすべて却下したことに對して抗議すると、裁判官は尾澤氏に対して退廷を宣告。そのまま判決文が読み上げられた。原告不在のまま

ま不当判決を下すという異常事態に傍聴席からは怒りと抗議の声が噴出。閉廷後、警備員が強制的に傍聴者を退廷させ、傍聴者ともみあいになる事態となった。

判決後、高裁前で報告集会を開催。担当弁護士は判決について「常識では考えられない判決であり、到底納得できない。原告と共に今後の対応を考えていきたい」と語った。キム本部長は「衝撃だった。韓国内でも様々な裁判を見てきたが、被告人を無理やり退廷させるのを見たことがない。いったい何世紀の裁判か。日本には人権も民主主義もないと感じた」と怒りをあらわにし「尾澤さんが勝利するまでともに闘う」と強調した。



報告集会でアピールするキム・ウニョン本部長

●韓青が夏期講習会を開催…「民族的に生きる」意義を共有



参加者全体で集合写真

在日韓国青年同盟（韓青）は9月14日から15日にかけて、「第56回韓青全国夏期講習会 サマーキャンプ2024」を三重県鈴鹿市で開催した。全国から同胞青年が結集し、学習会や班別討論などを通じて祖国と民族について語り合い、交流を深めた。

一日目は開会式の後、韓国発見ツアー・チンチャコリア報告会を実施。韓青中央本部の韓成祐（ハン・ソンウ）委員長がチン

チャコリアでの成果について報告し、参加した青年それぞれからの感想を共有した。夕食はBBQを実施し、夜遅くまで交流した。

二日目朝には学習会を実施。現在の朝鮮半島情勢を解説した上で、韓青が目標とする祖国統一と在日同胞青年の民族的解放の意義について学習した。班別討論では班員が韓青に参加するようになった契機や民族的ルーツ、これからの韓青活動への決意などが話し合われた。

閉会式では参加者全員が感想を共有した。参加者からは「班別討論を通じて、民族について改めて考える機会になった」「これからも韓青活動に参加し、新しいことを学んでいきたい」などの感想が出された。韓委員長が閉会あいさつ。「韓青は様々な背景を持った在日同胞青年が集まり、これからもっと楽しくなる。ぜひ今日を契機に各地域の活動にも参加してもらいたい」と話した。

●各地で朝日ピョンヤン(平壤)宣言22周年行事を開催…朝日国交正常化を要求

■東京



講演する和田春樹名誉教授

「朝鮮半島と日本に非核・平和の確立を！市民連帯行動」は9月15日、都内で「日朝ピョンヤン宣言22周年集会～ストックホルム合意から10年～日朝国交正常化はなぜ進まないのか」を開催した。

「戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会」の染裕之共同代表が主催

者あいさつした後、日朝交渉検証会議の和田春樹・東大名誉教授が「日朝国交正常化はなぜ必要なのか どうしたら可能になるか」と題し講演。日朝関係について「安倍政権時に出された安倍拉致3原則（拉致問題は日本の最重要課題である、拉致問題の解決なくして国交正常化なし、被害者全員の生還を求める）によって朝鮮との対立が決定的となった」と強調。日朝交渉再開の条件として△安倍拉致3原則の取り下げ△在日朝鮮人に対する差別の是正を提示した。

ジャーナリストの有田芳生氏は「日朝交渉はなぜ22年も成果がなかったのか 日本政府の責任と課題」と題し講演。自民党政権における日朝交渉の経緯と問題点を解説したうえで、「日朝交渉が頓挫したことによって拉致被害者は家族と再開する機会を奪われた。被害者を本当に救済したいなら、懸案事項を取り払い交渉を再開すべき

だ」と訴えた。

韓国進歩連帯のハン・チュンモク常任共同代表がビデオメッセージを通じて連帯あいさつ。尹錫悦（ユン・ソンニョル）政権による戦争政策を糾弾し、9月、11月、12月と尹政権退陣にむけた国民総決起集会を準備していることを報告。「朝鮮半島と東アジアの平和のために、これからも共同闘争を繰り広げていこう」と訴えた。

■愛知



講演する羽場久美子名誉教授

「日朝教育・文化交流をすすめる愛知の会」は9月14日、名古屋市内で日朝平壤宣言22周年行事を開催。韓統連愛知本部が協賛した。

在日本朝鮮人人権協会の金東鶴（キム・トンハク）副会長が「日朝国交正常化と朝鮮学校ー今、何が課題となるのか？ー」と題し講演。金副会長は「この20年、日本政府は朝鮮政府への制裁と朝鮮学校への無償化排除へ向けた動きを継続的に強め、更には自治体からの交付金についても文部科学省からの通知に伴い交付しない自治体が出てきているなど、官制ヘイトと言われる状況が続いている」と指摘。今後の課題として△日朝がお互いの顔が見える関係を構築する△制裁への批判世論を高める△過去清算への問題意識を高める△国交正常化への機運を高めることを提示した。

「韓国併合」100年東海行動実行委員会は9月16日に「日朝平壤宣言22周年東アジアの平和的共存における日朝関係回復」を開催。青山学院大学の羽場久美子名誉教授が講演した。

羽場名誉教授は今後の人口動態の推移・GDPの規模・経済統計などの表を示しながら

ら「今後の世界は米国中心ではなく、グローバルサウスによる共存と発展がカギになる。米国中心の世界秩序は変容を余儀なくされるだろう」と主張。「米国が主張する『民主主義VS専制政治』の世界観は、中国を主敵とみなし世界規模の危機を醸成しており、対立と緊張をつくっているのは米国だ」とし、韓米日の軍事同盟化の進展についても強い危機感を表明。

今後の課題として「日本が米国の戦略に巻き込まれないためにも、日中韓台+アセアンとの協力でアジアの平和と市場のセンター化を推し進める必要がある」と指摘し、「政府に頼るのではなく、自治体、市民、わたしたちが立ち上がりアジアから平和を構することが必要だ」と強調した。

■大阪



講演する金志永編集局長

日朝市民連帯・大阪（市民連帯）は9月13日、大阪市内で「日朝国交正常化の早期実現を求める大阪集会」を開催。市民連帯の大野進共同代表が主催者あいさつ。

「日朝ピョンヤン宣言が発表されて22年が経過しましたが、合意事項が一向に履行されていません。日朝国交正常が実現されて、最初に実現してほしいのは朝鮮学校の無償化です」「今日の集会で改めて日朝ピョンヤン宣言の精神を共有し、これからも積極的に活動していきましょう」と語った。

朝鮮新報社の金志永（キム・ジヨン）編集局長が情勢講演。金編集局長は日朝ピョンヤン宣言について「宣言の精神は日本の過去清算に基づく国交正常化なのに、日本政府はその精神を守っていない。特に安倍

政権時に『拉致問題の解決なしに国交正常化もない』とする『拉致3原則』を掲げるなど、国交正常化を望まない勢力が過去の清算を先送りにしている」と批判。「このような現状を打開するためには、朝日国交

正常化を望む方々の草の根運動が大切だ。共に運動を進めていこう」と訴えた。

事務局の古賀滋氏が岸田首相宛の要請文案を提案し、拍手で確認。長崎由美子共同代表が閉会あいさつした。

●韓統連大阪本部が韓統連セミナーを開催…金昌範代表委員が報告



報告する金昌範代表委員

韓統連大阪本部は9月23日、大阪市内で韓統連セミナー「～韓米日・韓日軍事同盟を許すな～進みゆく戦争準備の仕組みを解き明かす」を開催した。

金昌範（キム・チャンボム）代表委員が報告。金代表は「世界が多極化する中で

も、世界の軍拡を引っ張るのは米国と中国であり、韓国の軍拡は、歴代政権下でよどみなく続けられている。尹錫悦（ユン・ソンニョル）政権の誕生は米国にとって好都合で、尹政権は積極的に軍拡を進めている」と指摘。

また、尹政権下での米国・日本との主な会談及び合同軍事演習の実態にふれながら「韓米、韓米日の合同軍事演習はますます拡大する一方、日本でも沖縄周辺における自衛隊基地の建設・拡張などが行われ、軍拡が進んでいる」と批判。「日本ではわたしたちの年金積立金が軍事企業への投資に利用されており、このような事実が知らされていない中で軍拡は行われている。身近な問題とも関連付けながら軍拡に反対していこう」と強調した。

행사예정 行事予定

10月

第29回統一マダン生野(大阪)

日時: 10月6日(日) 正午開始 場所: いくのパーク 内容: 韓国民衆歌手ペク・チャさんのミニライブ、朝鮮舞踊、Kポップダンスなど舞台出演、コリアンフードなど屋台出店 主催: 同実行委員会 連絡先: 06-6711-6377

11月

第15回ハナ・マダンあまがさき(兵庫)

日時: 11月3日(日) 午前11時開始 場所: 橘公園 内容: 韓国6.15市民合唱団の公演、朝鮮・韓国料理など屋台出店、展示コーナー 主催: 同実行委員会 連絡先: 090-3654-5159 (秋本)

韓統連広島セミナー2024(広島)

日時: 11月30日(土) 午後2時開始 場所: 広島市まちづくり市民交流プラザ 内容: 「尹錫悦政権と朝鮮半島情勢の展望」(講師: 金昌五副委員長) 主催: 韓統連広島本部 連絡先: 090-3372-0993 (尹)

尹錫悦政権の支持率がついに20%代まで下降しました。韓国の市民社会団体では9月から連続して大規模な退陣大会を準備しており、いよいよ本格的な退陣局面が迫ってきています。わたしたちも韓国民衆に連帯し、力強く退陣闘争を展開していきます。(李)



いつでも
どこでも
水洗トイレ!

自律式移動型水洗トイレ サラオ

国交省認定『快適トイレ』

広々、キレイ、置くだけ。ソーラーパネル付きなら電力も不要。

太陽光設備と蓄電池設備を備えた自律式移動型水洗トイレです。電気や上下水道の設備が整っていない環境でも設置できます。最新式の便器を使用し、温水洗浄暖房便座を完備しています。家庭用トイレと変わらない外観・内装なので、安心して清潔な水洗トイレを利用することができます。

汚水タンクには脱臭効果のある土壌被覆がされており、臭いがしません。外部コンセントが付いているため携帯電話の充電や電化製品等が使用できます。工事現場だけでなく災害などの緊急時にも対応可能です。移動式クレーン車で運搬ができ、設置撤去が簡単です。



快適トイレ
適合商品 NETIS 国土交通省新技術情報システム登録商品
CB-160028-VR

広さ約2倍以上。着替えもできます!

広さは一般的な仮設トイレの約二倍。着替えもしやすく、お子様と一緒に入れるなど、女性に優しい空間です。



快適トイレ
適合商品 NETIS 国土交通省新技術情報システム登録商品
CB-160028-VR

女性に嬉しい、水洗トイレの清潔感!

簡易水洗ではなく、家庭と同じ水洗トイレだから清潔に保たれます。衛生面でも安心です。



快適トイレ
適合商品 NETIS 国土交通省新技術情報システム登録商品
CB-160028-VR

使いたい場所に、使いたい期間だけ。

リフトやトラックで運搬できるため、設置場所を選びません。必要な場所にお届けします。



【大型駐車場 SII型】



【災害避難所 駐車場/SII型】

熊本地震の際に、災害ボランティアセンターでご利用していただきました。地震では上水管と下水管が甚大な被害を受けます。災害ボランティアセンターに設置し多くの方にご利用いただきました。鏡もあり、着替えもでき、当たり前の水洗トイレがうれしいという声を頂きました。



【ラグーナビーチ SII型】

屋外結婚式に使用しました。



【駅前工事現場 SII型】

駅の再開発工事でサラオ SII型を採用していただきました。多くの方が働く現場ですので、タンクに給水が不安の上水を直結。下水は仮設の下水を引いていただき、それに直結しました。女性の警備員さんに大変喜んで頂いたのがうれしい思い出です。



【キャンプ場 WI型】

大自然に囲まれキャンプをする中でも、仮設トイレ特有の不快感や違和感はありません。快適に過ごせることをお約束します!

安全とエネルギーと環境を創造する

Gテクノ株式会社

<https://www.g-techno.jp/>

お問合せの際は
下記フリーダイヤルまでご連絡下さい。

サラオ イイナ



0120-360-117